

■単位修得試験・レポート試験について■

試験全般について

■単位修得試験およびレポート試験に関する事（申込・受験・結果通知・再試験等）については『学生のしおり』の通信履修の項目に記載しています。受験の申込み（受験地登録）をする前に、**必ず該当ページを熟読・理解**しておいてください。

また、試験問題は学習支援システム内に掲載ページを設けています。

■学習支援システムによる単位修得試験の申込方法や成績の確認は、**学習支援システムの手引き**に記載しています。必ずご確認ください。

■単位修得試験の受験結果が不可（不合格）となった科目については、単位修得のため、改めて再試験を受験しなければなりません。

再試験の受験は、通常の単位修得試験の受験手続きと同じく、当該科目の不合格の成績通知を受け取った後、所定の受付期間内に申し込むことができます。（受験した試験答案を自己判断し、不合格となることを予測して成績通知前に再試験を申し込むことはできません。）

再試験科目の受験には再試験手数料として、受験科目 1 科目につき 1000 円の事前納付が必要となります。

下記の書類に必要事項を記入の上、請求する再試験手数料の合計金額（現金または郵便為替）と返信用封筒を添えて、再試験科目受験日の 8 日前までに本学会計係まで申し込んでください。

- ・送金票（本書巻末に付録）
- ・再試験手数料代（1 科目 1000 円）
- ・返信用封筒（宛先明記の上、110 円切手を貼付のこと）

※受験する再試験科目 1 科目につき、再試験手数料 1000 円が必要です。

レポート試験については、再試験手数料は不要です。

■同一科目を 2 ヶ月間連続して受験はできません。

■受験地登録した科目は、受験日の前月末日まではキャンセルできます。試験をキャンセルする場合は、メール・郵便で通信教育部事務室までご連絡ください。

（欠席した試験の次月へのスライド制は廃止しました）

■試験時間中にスマートフォンおよびペットボトル等飲食物を机上へ置くことを禁じます。

また、飲食（ガムを噛む等）・着帽等も認めません。真摯な態度で試験に臨んでください。

受験申請（試験の申込）について

- 受験申請は学習支援システムで行います。申請期間は試験（受験予定）日の前月 1 日～15 日です。手続き方法は、学生のしおり及び学習支援システムの手引きを確認してください。
- 一度申し込んだ単位修得試験の受験科目・受験地の変更は、申請期間内であれば可能です。
- レポート試験受付票及びレポート試験答案用紙は郵便にて受付します。提出期間は、3 月と 9 月を除く、毎月 1 日～15 日まで（必着）です（15 日が日・祝日であれば 16 日（必着））。事務室へ直接持参する場合は事務室開室時間（平日 9 時より 17 時まで、土曜日は 9 時より 12 時まで）に来てください。

試験会場への交通手段について

- 全会場において、自動車での来場を禁止しています。必ず、公共交通機関（電車・バス等）を利用してください。
会場および周辺への自動車の乗り入れは、厳禁です！
止むを得ず使用する場合は、必ず公共の駐車場を利用してください。会場が専門学校等の教育施設であっても、園庭・校庭・教職員用駐車場等へ決して乗り入れないでください（トラブル等に関して大学はいっさい関与しません）

地方会場での受験について

- 会場によって、入場（開室）時間が異なります。早く入場（入室）できない会場もありますので、ご了承ください（全会場において、開始時刻の 30 分前よりの入場を目安にすること）。
- 時計を設置していない会場もあります。必ず、腕時計または携帯型の置き時計を持参してください（試験時間中の携帯電話機の使用は認めません）。

卒業に係る受験月の制限について

■卒業判定（事務）の都合により、卒業予定者は以下の通り受験が制限されます。

単位修得試験

9月に卒業予定の正科生⇒8月実施の試験を受験できません。

3月に卒業予定の正科生⇒1月および2月実施の試験を受験できません。

※それぞれにおいて、追試験（該当者のみ3科目まで）を別日程で実施します。

レポート試験

9月に卒業予定の正科生⇒8月15日が初回提出の最終〆切になります。

3月に卒業予定の正科生⇒1月15日が初回提出の最終〆切になります。

※レポート試験の再試験の最終〆切については、別途定めます（初回提出時期によっては再試験ができない場合があります）。

異常気象（警報発令）時・公共交通機関の運休時における単位修得試験の取り扱いについて

例) 午前 試験開始の場合

警報（特別警報・暴風警報）の解除の時刻、 もしくは交通機関の運行再開時刻	試験の取り扱い
午前7時までに解除（再開）	通常通り実施
午前7時を過ぎても解除（再開）されない。	実施せず（試験中止）

例) 午後 試験開始の場合

警報（特別警報・暴風警報）の解除の時刻、 もしくは交通機関の運行再開時刻	試験の取り扱い
午前10時30分までに解除（再開）	通常通り実施
午前10時30分を過ぎても解除（再開）されない。	実施せず（試験中止）

中止となった試験の代替措置については、後日大学より対象者へ連絡致します。

注意事項・その他

- 試験の結果（成績）は試験翌月上旬に学習支援システムに反映されます。試験成績や試験問題の内容に関する質問等については、いっさい応じられませんので、ご了承ください。

- 大地震等による突然のアクシデント時には、何よりも身の安全の確保を最優先してください。それに起因して受験が不可能となった場合に限り、当該試験を受験しなかったものとして扱います（ただし、証拠書類等の提出を求めています）。

- レポート試験において複数の問題が掲載されている場合は、すべての問題を回答してください。